



第15回 稲門建築会特別功労賞

中村 光彦（苗S42）

神宮式年造宮庁技術総監

表彰理由：

通商産業省や建設省において、住宅行政や「つくば研究学園都市の施設整備」など、建築関連の業務に長く携わる。1998年から2002年まで在籍した宮内庁では「桃華楽堂」の修復、「東宮御所」の改修など、近代建築を貴重な文化財として後世へ継承する作業に尽力された。「旧日光田母沢御用邸本邸に関する調査と修復工事」により2002年日本建築学会賞(業績)受賞。2004年からは、今和次郎が初代会長を務めた全日本建築士会の専務理事として木造建築文化の発展に寄与している。2005年1月、神宮式年造宮庁技術総監に着任。現在、2013年秋の式年遷宮に向け、神宮の社の建て替え工事統括という重責を担われている。2004年からは早稲田大学理工学部(現・創造理工学部)の非常勤講師として後進の育成にも当たるなど、稲門建築の発展に幅広く貢献されている。以上により2011年度の稲門建築会特別功労者として推薦いたします。(推薦人 守山久子)

略歴

- 1967 早稲田大学建築学科卒業(松井源吾研究室)。同年、通商産業省に入省、住宅産業行政などに携わる。
- 1969-88 建設省で、つくば研究学園都市の施設設備、ストック型社会へ向けての建築物の保全表性等に従事。その間に、イタリア政府給費留学(都市景観の形成・整備に係わる調査、於 フィレンツェ大学)、フランス政府給費留学(都市景観の形成・整備に係わる調査、於 フランス建築研究所)などを経験し、人事院の国家公務員試験専門委員を併任する。
- 1988-2002 宮内庁で「桃華楽堂」の修復、「東宮御所」の改修に携わり、また「旧日光田母沢御用邸」等の数々の皇室にゆかりのある伝統木造建築の調査、修復に携わる。
- 2004- 社団法人全日本建築士会専務理事(初代会長・今和次郎)、山下設計技術顧問
- 2005- 神宮式年造宮庁技術総監
- 2004-12 早稲田大学理工学部(現・創造理工学部)非常勤講師
- 2004-10 日本大学大学院工学研究科非常勤講師
- 2001 紀伊徳川家江戸中屋敷(明治期に一時仮皇居としても転用される)の空間構成の特質と変遷に係わる論文で工学博士号取得(早稲田大学中川研究室)
- 2002 旧日光田母沢御用邸の調査・修復によって「日本建築学会業績賞」を受賞
- 2012 瑞宝小綬章 叙勲

-伊勢神宮式年遷宮-

過去から現在・未来につらなる我国の伝統文化及びモノ造りの原点としての感性の継承



清涼な五十鈴川の流れ



悠久なる自然と渾然一体となった社殿



お白石を敷き詰めた聖域に渾然と建つ社殿



前回遷宮後の新社殿と前回遷宮前の旧社殿の俯瞰

-旧日光田母沢御用邸-

江戸・明治・大正期の伝統木造建築の集大成



旧日光田母沢御用邸の全体俯瞰